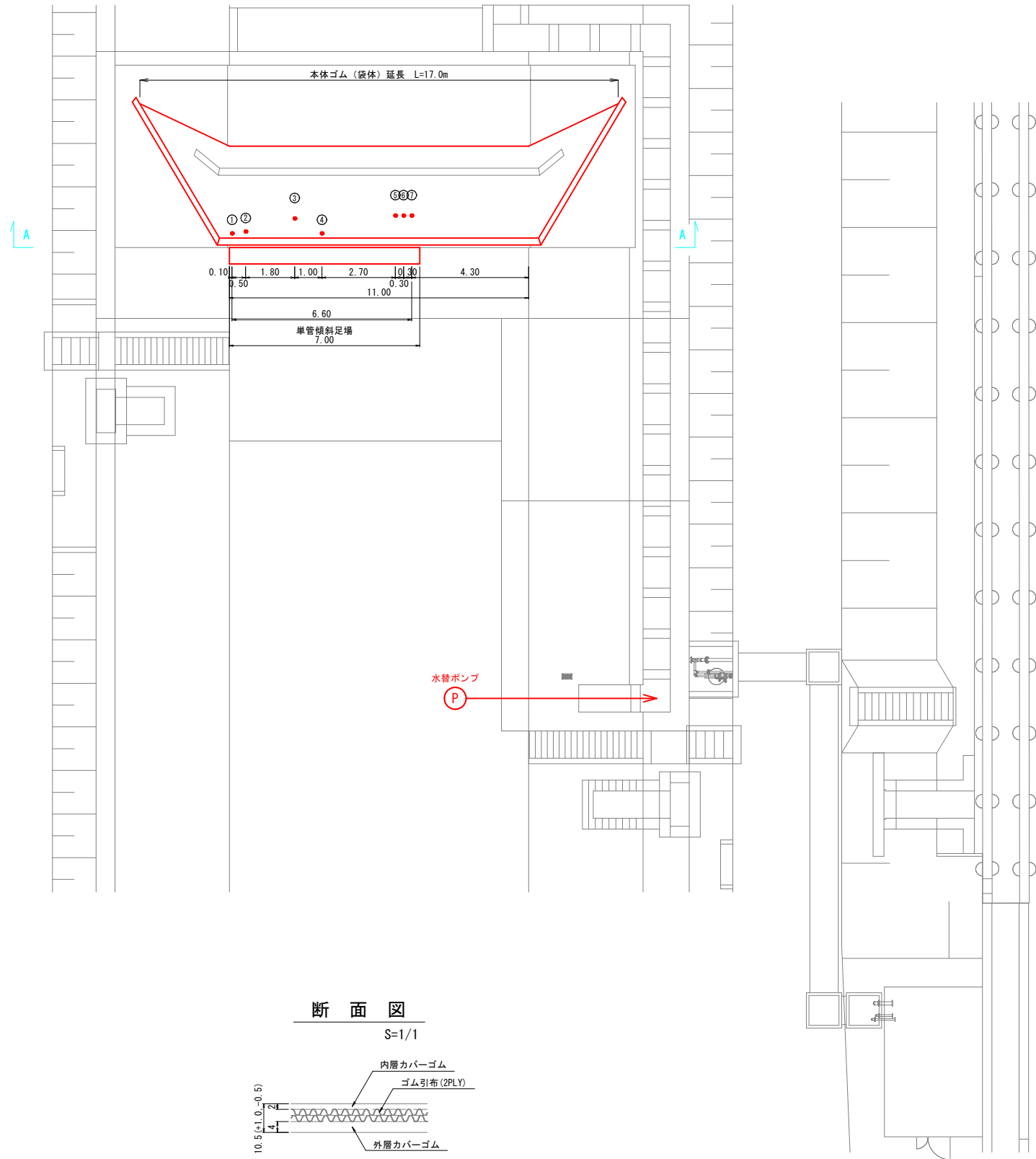


ゴム堰復旧計画図

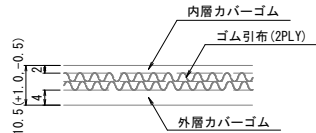
S=1/100

平面図

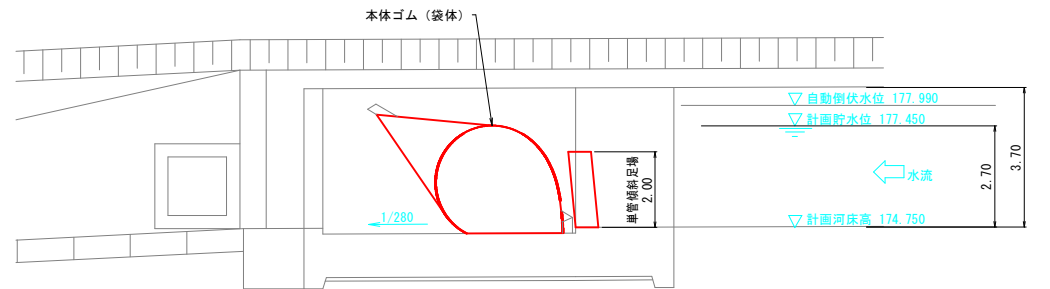


断面図

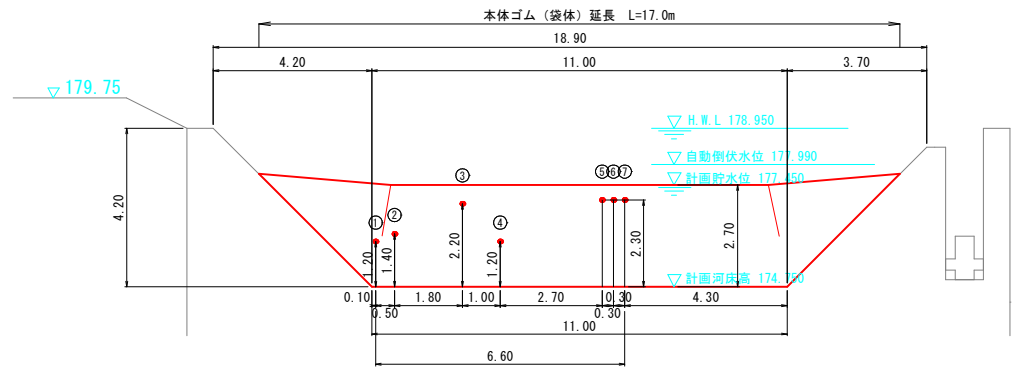
S=1/1



縦断面図



横断面図 A-A



No	位 置	傷の長さ	傷の深さ	補修方法 (起立状態)
①	左岸法尻より0.1m・H=1.2m	L=100mm	3.9mm	300×300 パッチ当て
②	左岸法尻より0.6m・H=1.4m	L=30mm	4.6mm	300×300 パッチ当て
③	左岸法尻より2.4m・H=2.2m	L=30mm	貫通	パンク修理後、300×300(クッションゴム付き)×500×500パッチ当て
④	左岸法尻より3.4m・H=1.2m	L=20mm	3.0mm	300×300 パッチ当て
⑤	左岸法尻より6.1m・H=2.3m	L=30mm	4.7mm	300×300 パッチ当て
⑥	左岸法尻より6.4m・H=2.3m	L=30mm	貫通	パンク修理後、300×300(クッションゴム付き)×500×500パッチ当て
⑦	左岸法尻より6.7m・H=2.3m	L=30mm	4.8mm	300×300 パッチ当て

施工手順

- ① (貫通部) ゴム袋体本体部バフ掛け～トップキュア埋込み
- ② (凹凸部) ゴム袋体本体部バフ掛け～サンパットL 埋込み
- ③ (補修部) ゴム袋体本体部バフ掛け～サンパットRD 塗布(1 回目)
- ④ 補修材料の加工(カット、バフ掛け、サンパットRD 塗布(1 回目))
- ⑤ 完全乾燥後、補修材へのサンパットRD 塗布(2 回目)、クッションゴムへのサンパットRD 塗布(1 回目)
- ⑥ クッションゴムの補修材への貼付け：サンパットRD が爪に付着しない程度まで乾燥させた後に貼り付ける。貼付け後はハンドローラー等を用いて十分に圧着する。
- ⑦ ゴム袋体本体へのサンパットRD 塗布(2 回目)、補修材(クッションゴム面)へのサンパットRD 塗布(1 回目)
- ⑧ 補修材のゴム袋体本体への貼付け：サンパットRD が爪に付着しない程度まで乾燥させた後に貼付け後はハンドローラー等を用いて十分に圧着する。
- ⑨ ゴム袋体本体部の補修材貼付け部上流側バフ掛け～サンパットRD 塗布(1 回目)
- ⑩ 塗布反の加工(カット、バフ掛け、サンパットRD 塗布(1 回目))
- ⑪ 完全乾燥後、ゴム袋体本体部の補修材貼付け部上流側へのサンパットRD 塗布(2 回目)、塗布反へのサンパットRD 塗布(2 回目)
- ⑫ 塗布反の貼付け：サンパットRD が爪に付着しない程度まで乾燥させた後に貼り付ける。貼付け後はハンドローラー等を用いて十分に圧着する。
- ⑬ 養生

工事名	令和5年7月7日～7月10日梅雨前線豪雨災害 (令和5年7月7日～10日発生)		
図面名	中祖頭首工 ゴム堰復旧計画図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	1
会社名	広島県土地改良事業団体連合会		
事務所名	広島県 三次市		